

除草剤
モゲトンジャンボ
ACN剤

平成 27 年 11 月 11 日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

●適用土壌及び適用地帯を削除し、【変更前】を【変更後】へ改める。

【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ACNを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層はく離	ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層はく離の発生時 但し、収穫45日前まで	壤土～埴土	20個 (1kg)/10a	3回以内	水田に投げ入れる。	北海道 東北 北陸	3回以内
			砂壤土～埴土				関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯	
れんこん	ウキクサ類	ウキクサ類の発生時(れんこんの立葉発生後)但し、収穫45日前まで	砂壤土～埴土(減水深2cm/日以下)				全域	

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ACNを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ウキクサ類 アオミドロ・藻類による表層はく離	ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層はく離の発生時 但し、収穫45日前まで	20個 (1kg)/10a	3回以内	水田に投げ入れる。	3回以内
れんこん	ウキクサ類	ウキクサ類の発生時(れんこんの立葉発生後)但し、収穫45日前まで				

<使用上の注意事項の変更>

(3)、(5)の「避けること」を「さけること」に変更し、以下のとおりとする。

【変更後】

- (1)必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきること。
- (2)開封後はすみやかに使い切ること。
- (3)処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態で、10アール当たり20個の割合で水田に均等に投げ入れること。処理後、少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、処理後7日間は落水、かけ流しはしないこと。なお漏水の激しい水田(減水深2cm/日以上)での使用はさけること。
- (4)ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層はく離の発生が進むと拡散が不十分となり効果が劣ることがあるので、発生を認めた場合なるべく早い時期に処理すること。
- (5)水稻が水没するような深水では、薬害を生じることがあるので使用をさけること。
- (6)れんこんに使用する場合、処理後一時葉の退色がみられることもあるが、その後の生育収量には殆ど影響は認められない。
- (7)本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

